

氏名	原 和彦	部署	理学療法学科	職名	教授
研究分野	義肢装具学、臨床運動学、生体力学、材料工学、生活環境支援理学療法学				
学位	博士(工学)				
学歴	1994年日本大学大学院理工学研究科(修士課程)医療・福祉工学専攻修士課程修了、1998年日本大学大学院理工学研究科(博士課程)医療・福祉工学専攻博士課程修了				
経歴	2000年4月埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科専任助教授、2005年4月埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科専任教授				
所属学会(役職)	日本理学療法士協会日本理学療法学会、日本義肢装具学会、専門リハビリテーション研究会(理事・副会長・事務局長)、埼玉県理学療法士会(理事・副会長)、埼玉県がんリハビリテーション研究会(顧問)、日本支援工学理学療法学会(常任運営幹事)				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月	
(1) 著作					
1 該当なし					
(2) 論文					
1 大腿骨近位部骨折患者における立ち上がり動作の運動力学的・筋電図学的分析-動作時疼痛の有無による比較	共著	理学療法学 42(3), 228-236	上野貴大, 高橋幸司, 座間拓弥, 鈴木英二, 原和彦	2015.6	
(3) 学会発表					
1 下腿義足制御力とソケット内圧との関係について	共著	第31回日本義肢装具学会、横浜市	豊田輝, 原和彦, 烏山実, 寺村誠治, 宮城新吾, 鈴木陽介	2015.11	
2 足圧中心前方移動距離と足趾荷重量・足趾把持筋力との関連	共著	第50回日本理学療法学会、東京	抜井 周子, 田口孝行, 原和彦	2015.5	
3 小児在宅支援におけるリハビリテーションに関する研究—一周産期母子医療センターを有する病院に対する全国調査—	共著	第50回日本理学療法学会、東京	長島 史明, 原和彦, 久保田 章仁, 中川 尚子, 光村実香, 梶原 厚子, 前田 浩利, 岸 太一	2015.5	
(4) その他					
1 該当なし					
2. 競争的資金等の研究					
競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間	
1 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)JSPS KAKENHI Grant Number 25350673	義足ソケット適合評価のための3次元形状評価システムの構築(研究代表者)			2015.4~2016.3	
3. 教育業績					
講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)			
(1) 講義					
1 義肢装具学	2015.10~2016.3	義肢装具の名称、歴史変遷、構造、機能の理解を促し、補装具の処方に必要な社会保障制度の理解、運動機能向上のための種々の活用のため理解を促す講義を行った。			
2 義肢装具適合支援学	2015.10~2016.3	生活機能を高める補装具の適応理論を確認して、機能代償のメカニズム、バイオメカニクス、運動適応のための評価治療学、理学療法実践介入の基礎を学ぶ講義を行った。			
3 I PW論(専門職連携実践論)(博士前期)	2015.4~2015.9	保健医療福祉の連携・協働は、チーム医療やチームアプローチを行う上で必須になっているIPW(専門職連携実践)の発展の歴史、理論と実践の手法、そのための教育であるIPE(専門職連携教育)について学習する講義を行った。			
4 理学療法症候障害論(博士後期)	2015.10~2016.3	理学療法の対象疾患に関する運動学、運動力学、生体工学、臨床神経生理学、運動生理学、組織学、生化学などの最新研究手法を学び、科学的根拠のある理学療法の効果検証方法とその限界について学ぶ講義を行った。			

(2) 演習				
1	理学療法セミナー(OSCE1)	2015.4～2015.9	臨床教育実習Ⅱに向けて、問診、面接、及び基本的評価技術の能力評価として客観的臨床能力試験(OSCE)を行い、その結果を踏まえ学生に対して個別指導を行った。	
2	理学療法セミナー(OSCE2)	2015.4～2015.9	臨床教育実習Ⅲ・Ⅳに向けて、問診、面接、及び基本的評価と治療技術の能力評価として客観的臨床能力試験(OSCE)を行い、その結果を踏まえ学生に対して個別指導を行った。	
3	理学療法症候障害演習(博士後期)	2015.10～2016.3	疾病や障害によって生じた機能制限因子や活動制限・参加制限について理学療法症候障害学論で学んだ知識を深め、理学療法の効果検証を行うための研究手法について演習する。	
(3) 実習				
1	基礎運動療法学実習	2015.4～2015.9	運動療法の基礎的知識の理解に立った実践運動療法の技術習得に向けた実習講義を行った。	
2	義肢装具学実習	2015.10～2016.3	義肢装具学の理解に基づいた補装具の使用、調整、義肢装具を使用した理学療法支援の実践アプローチについて実習講義を行った。	
3	臨床教育実習Ⅰ(検査測定)	2015.10～2016.3	2年次までに学んだ理学療法評価における検査測定技術について、臨床実習指導者の指導監督のもとで臨床実践を行い、検査技術の実際を経験する実習指導、教育支援の実習科目の総括を行った。	
4	臨床教育実習Ⅱ(評価)	2015.10～2016.3	3年前期までに学んだ理学療法評価を臨床実習指導者の指導監督のもとで臨床実践を行い、理学療法評価の実際を経験する実習指導、教育支援の実習科目の総括を行った。	
5	臨床教育実習Ⅲ(総合)	2015.4～2015.9	臨床教育実習Ⅰ・Ⅱでの経験と学内で修得した内容を応用し、臨床実習指導者の指導・監督のもとで、理学療法全般(評価と治療)について一連の過程を実践の場で学習する実習全般の指導支援を行う実習科目の総括を行った。	
6	臨床教育実習Ⅳ(地域・老健・通所・クリニック)	2015.4～2015.9	これまで学んだ理学療法に関する知識、技術を地域リハビリテーション施設あるいは特定領域施設等において応用する実習指導、教育支援を行う実習科目の総括を行った。	
7	義肢・装具学実習	2015.4～2015.9	作業療法学科専門科目において、特に下肢切断の理学療法、義肢適合支援に関する実習講義を2コマ行った。	
(4) 論文指導				
1	卒業研究	2015.4～2016.3	4年間の理学療法に関わる授業や実習を通して修得した知識と技術及び専門性の視点から、理学療法並びに保健医療福祉の関わる疑問や解決すべき問題を想起し、研究という手法を用いその疑問や問題を分析解析する研究を指導する科目の総括を行った。個別指導は2名の研究論文指導を行った。	
(5) その他				
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	臨床教育実習指導者講習会	理学療法学科	講師、身体機能評価と動作分析の基礎	2015.9
2	認定理学療法(運動器、切断)必須研修会	日本理学療法士協会	講師、切断の理学療法	2015.10
3	認定理学療法(生活環境支援、補装具)必須研修会	日本理学療法士協会	講師、義足適合支援に関する理学療法介入	2015.11
4	日本支援工学理学療法学会第2回学術集会	日本理学療法士協会	大会長、シンポジウム座長、テーマ「地域で活かす支援工学理学療法」	2015.12
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称		任期
1	日本理学療法士協会	認定理学療法士試験委員会委員		2013～現在
2	埼玉南専門職連携推進会議	運営委員		2007～2016
3	埼玉県理学療法士会	副会長、表彰審査委員会委員長		2011～現在
4	日本理学療法士協会	第50回日本理学療法学会大会 演題査読		2015.11～2015.12
5	日本理学療法士協会	第34回 関東甲信越ブロック理学療法士学会 演題査読		2015.6～2015.7
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
5. 学内運営(委員会委員)				

1	地域専門職連携推進部会 部会長		
2	地域産学連携委員会 委員		
3	教授会		
4	研究科教授会		
5	学科会議(週1)		
6	IPW実習部会科目責任者会		
7	学科長		
8	教員人事委員会		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		